

LSA 2021-2022 研究展開委員会 応募テーマ一覧

| No. | 提案者 (主査ではない) | 新規or継続 | 研究テーマ | 研究の目的 |
|-----------|-----------------|---------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 (特別研究A) | 石井一英 | 新規・一部継続 | 廃棄物最終処分システムのDXとGXに関する研究 | ・最終処分場の計画・設計・施工・維持管理・廃止後管理のすべての段階のDXとGXに関する研究を行うことを目的とする。 |
| 2 (特別研究B) | 石井一英 | 新規 | 廃棄物最終処分場の長寿命化に伴う機能検査と気候変動適応策 | ①長寿命化及び近年のゲリラ豪雨多発による維持管理上の課題、機能検査実施状況の実態を明らかにする。 ②実態調査に基づく機能改善策も含めた機能検査・気候変動適応マニュアルをコンソーシアムにより策定する。 ③浸出水処理施設のリニューアルとコストの削減策を提案する。 |
| 3 (行政研究) | 宇佐見貞彦 | 継続 | 廃棄物の物性変化に応じた最終処分場施設のあり方研究 | 廃棄物の無機化・高密度化や有機系キレート剤の影響により、廃棄物の透水性や含有成分が変化しているにも関わらず、計画設計要領や性能指針に反映されていないことから、これらの事象に対する適正な設計の考え方を提案する。 |
| 4 (調査研究) | 坂本 篤 | 継続 | 最終処分場の廃止に関する研究 | 廃止事例等の廃止測定データを整理する。 |
| 5 (調査研究) | 則松 勇 | 継続 | 高pH浸出水に関する調査 | 不適正な管理状態にある準好気性埋立または海面処分場において、高pH浸出水（保有水）の流出により、長期間中和程度の水処理を継続する処分場が存在する。R2年度まで陸上処分場のアンケート調査を行った。回答中7%程度は排水基準（pH8.6）超過の結果という。細かなデータ集計が未完である。 |
| 6 (調査研究) | 則松 勇 | 継続 | アジア地域への日本の最終処分システム技術の情報発信に関する研究 | アジア地域の廃棄物処理ニーズを的確に把握し、それを解決するための基本技術やシステムの提案を、これまでLSAが蓄積してきた技術、および新たな調査等からとりまとめ、アジア諸国に英語版で発信する。 |